

## 第3回犬山市総合計画審議会での意見整理

※●=第3回Aグループ、●=第3回Bグループを意見です。

## ■問題・課題

## 1) 就職を機に若者が市外へ行ってしまわないか

- ①「大きい会社」、「安定した会社」を求めてしまわないか。
- ②大学生の就職にあたって、犬山市の企業を知る機会がない。
- ③高齢者は社会貢献や若者の支援をしたいと思っているが、活かせていない。
- ④男性が就職するところはあるが、女性が就職するところはあるのだろうか。

## 2) 適切な住宅が十分に供給されていない

- ①分譲住宅等が少ない。住宅メーカーにとって魅力がない。
- ②岐阜県内と比べると犬山市は家賃が高いが、愛知県内では安い。

## 3) 子育て世代には魅力が感じられないのではない

- ①学校、保育園等の施設が老朽化している。
- ②道路、踏切、商業施設等が赤ちゃん連れ（ベビーカー）に優しくない。
- ③公園やショッピングモールのような子どもと過ごせる場所があるのか。

## 4) 安全・安心な道路空間になっていない

- ①周辺自治体と比べて道路の幅員が狭い。
- ②歩車分離が十分ではない。

## 5) 観光のメリットを市民が感じていない

- ①観光のまちのイメージがあるが、あまり税収につながっていない。
- ②観光客のための観光都市ではいけない。住民とのつながりがあるのか。
- ③観光はいいが、観光で成り立たない。お金を落とす仕組みがない。

## 6) 遊びや食事の場所が不足している

- ①外食も買い物も遊びも市外に行ってしまう。市民のためのレジャーがない。
- ②衣食住。食が非常に乏しい。
- ③41号沿いが、(名古屋から来ると)犬山市に入ると何もなくなってしまう。

## 7) 市民参加が消極的である

- ①犬山市は好きだが、「自分でよりよくしよう」ということには消極的。
- ②市もがんばっているようだが、関わりしろがまだ少ない。

## 8) 地域のつながりが希薄である

- ①住んでいても地元での普通の生活がないため、地域のつながりが希薄にならざるを得ないのではないか。

## 9) 今後、財政の維持が困難になる

- ①財政調整基金が少なくなって、パンクすると大変。
- ②②全て(教育、インフラ等)に影響する。対策を考えないといけない。
- ③人口減少は税収減(住民税)につながる。

## 課題間連鎖が起きているのではない

- ①課題が次の課題につながって、あるところで負のスパイラルが起きている。それを正のスパイラルに変えることが重要ではないか。

## ■考え方・コンセプト

## 1) 日常を大事にしている

- ①リアルな生活に結びついたものを望んでいると感じる。それを積み重ねることが持続可能ではないか。

## 2) 人口減少は前提である

- ①今後、人口減少は流れからして逆らえない。それを前提として考えないといけない。

## 3) 循環型社会をつくる

- ①経済・資源が循環する社会をつくらないといけない。
- ②SDGsのテーマに向かっていく構造も大事。

## 4) 複合的に魅力を伝える

- ①環境のよさ、自然、歴史があることを伝える。
- ②文化、教育、産業が相乗的に地域の活力を生み出す。

## ■実現したいこと

## 1) 若者の頃から住み続けてもらう

- ①10代・20代前半ぐらいが犬山市に残ってもらわないといけない。10年後の犬山はその年代がメイン。
- ②②テレワークが定着しつつあるなか、犬山市を選ぶ人が増えてもいいはず。

## 2) 子ども・子育て世代に優しいまちにする

- ①子ども連れや子どもだけでも、安心して出かけられる環境が必要である。
- ②子育て支援のPRを図り、子育て・学習環境も充実させる。

## 3) 高齢者が社会とつながるようにする

- ①時間的、経済的な余裕がある高齢者が社会貢献や未来への投資、若者の手助けをする気持ちに伝える。

## 4) お金を落とし、回る仕組みをつくる

- ①循環できる社会を作ることが一番発展できることではないか。
- ②地元還元していく仕組みが必要。そうすると観光客が来たときに感謝できる。

## 5) 市民が地域活動や行政に参画している

- ①市民、特に若い世代が、主体的に活動したり行政にかかわっていくことが今後10年を考えると重要なのではないか。

## 6) 持続可能な財政を目指す

- ①投資効果をみんなで考えていくべきかもしれない。(効果的、効率的な行政運営)

## ■取組に対するアイデア

## 1) 働く機会に対する支援

- ①大学生、高校生に就職先として地元企業のPRやマッチングを行う。
- ②若者のビジネスチャンスと、高齢者の可処分所得をつなぐ仕組みをつくる。
- ③③テレワークの普及。自然豊かな犬山で仕事ができる環境を作る。
- ④スタートアップ支援があれば若者も根付くのではないか。

## 2) 移住し、暮らし続けるための支援

- ①区画整理ができると、まちの雰囲気が変わる。
- ②住宅購入、就労、結婚、子育てなど、犬山で暮らすこと全般に対して情報発信や相談を行う(若者生活設計コンシェルジュ)。
- ③若い世代が暮らしはじめられる状況を整える。

## 3) 子育て世代にとっての魅力づくり

- ①ICT教育の強い学校にする。移住を考える人にとって良いのではないか。
- ②ベビーカーで公園や商店に安全にアクセスできるようにする。

## 4) 市内でお金を使う場所・仕組みの整備

- ①①41号沿いに何かできると良い。
- ②川沿いに飲食店や遊興施設があるといい。
- ③教育、福祉、観光、産業などと文化が重なり合う空間(文化的コモンズ)をつくる。

## 5) 循環型社会の実現

- ①①市内でお金を落とす仕組みも大事。(市民、観光客)
- ②循環型(地産地消)で経済が回る仕組みを作る。
- ③2050年に向けて再生エネルギーなど企業としての取組みを促す。

## 6) 市民活動(若者、女性の活躍)の場づくり

- ①若者が活躍できる場づくりや男女間のギャップ解消を、企業も含めて進めていく。
- ②特に若い世代が市民活動や行政に積極的にかかわっていくことを促す。

## 7) 魅力発信の強化

- ①①ICTや紙媒体(広報、回覧板、掲示板等)をハイブリッドで活用していけるとよい。
- ②地形的に災害には強いことを住宅購入のメリットとしてPR。(②濃尾地震、内陸型の地震を意識した方がよい。)